

ともに学び合うために 2017インクルーシブ教育学習会

9月9日、岩教組本部会議室において、両教組あわせて58人（岩教組22人、高教組36人）の参加で開催しました。

日教組インクルーシブ教育部長の下坂千代子さんからは、今年発行になった「インクルーシブのつぼみ」をもとに、その活用の仕方や高校の通級指導（18年度本格実施）、インクルーシブ教育と特別支援教育の違いなどについての講話がありました。また、DPI日本会議の崔栄繁（さい たかのり）さんから「インクルーシブ教育を推進するに当たって今の学校に対して求められること」と題して講演がありました。障害者権利条約をもとに、社会モデルの考え方、合理的配慮、差別解消の考え方等について話されました。

参加者によるグループ討議では、実践上の悩みやインクルーシブな学校づくりのために何をすべきかというテーマでの討論を行いました。

特別支援教育が「障害による困難を克服」することに目的を置くのに対して、障害者権利条約に基づくインクルーシブ教育では「障害があることによって分けず」「ともに学ぶ教育制度を確保し、一般の教育制度から排除されないこと」を定めています。インクルーシブ教育の法的な意味などを学ぶ貴重な学習会となりました。



DPI日本会議 崔さん

青年教職員のつどい

9月2日にホテルルイズ・ROUND 1を会場に64人の参加で開催しました。学習会では、休暇法クイズを実施し、教職員生活に伴う様々な休暇法をクイズ形式で学習しました。新採用者・臨採者・未加入者の参加もあり、組合活動の意義について語り合う良い機会になりました。



10月の行事予定

10日(火)	教研推進委員会	21日(土)	日教組平和集会（～22日）
17日(火)	支部・分会代表者会議	25日(水)	連合岩手定期大会